

# 信頼ある成長

2021年 上半期

医師信組の現況



当組合は、医師専門の相互扶助を目的として設立された  
愛知県医師会に関する金融機関です



愛知県医師信用組合

## ごあいさつ

組合員の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。さて、愛知県医師信用組合は昭和38年4月に医師による医師のための業域信用組合として設立され、以来堅実経営と組合員本位を旨として発展してまいりました。今後も皆さまに、より充実した金融サービスをご提供できるよう財務体質の強化をはじめとする経営の健全化に努めてまいりますので一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

令和3年11月 愛知県医師信用組合 理事長 柵 木 充 明

## 事業方針

### ● 経営理念……………医業の発展に奉仕します

愛知県内の医師のための相互扶助精神に基づいた金融機関として、医師相互の金融の円滑化と医師の経済的地位安定により、医療基盤の強化を図り、医業の発展に寄与します。

### ● 経営方針……………堅実経営に徹します

業域組合として医師のニーズに応えるべく、医師のライフサイクルに応じた商品を提供し、組合員数の拡大と預金・貸出金の増強に邁進し、健全な経営を行います。

### (当組合の業務姿勢)

- (1) 効率的な経営を追求するため、伝統的預貸業務に特化し、少人数による業務運営を行います。
- (2) 資金運用においては、長期的視点にたった安全性と安定性を追及し、過度なリスクはとりません。
- (3) 正確な事務処理、明るく誠実な対応はお客様から信頼を得る最も重要な要素であり、その習得を図るため、職員のレベルアップに努めます。

## 経営情報（半期情報の開示について）

令和3年度上期（令和3年4月1日～令和3年9月30日）における経営情報をお知らせします。

### ◆貸借対照表

（単位：千円）

科 目	金 額		科 目	金 額	
（資産の部）	令和2年9月末	令和3年9月末	（負債の部）	令和2年9月末	令和3年9月末
現 金	45,007	50,217	預 金 積 金	78,980,346	82,475,114
預 け 金	27,586,073	29,755,357	普 通 預 金	27,951,298	30,267,677
有 価 証 券	46,657,199	46,398,766	貯 蓄 預 金	234	234
国 債	104,090	102,210	定 期 預 金	49,937,318	51,075,184
地 方 債	10,799,387	9,499,568	定 期 積 金	936,910	957,130
社 債	33,475,015	34,587,308	そ の 他 の 預 金	154,584	174,887
株 式	100	100	借 用 金	—	—
そ の 他 の 証 券	2,278,606	2,209,580	そ の 他 負 債	95,519	108,726
貸 出 金	16,612,194	18,496,725	未 払 費 用	34,598	37,613
手 形 貸 付	28,600	105,000	給 付 補 填 備 金	1,877	1,708
証 書 貸 付	16,583,594	18,391,725	未 払 法 人 税 等	48,108	57,836
そ の 他 資 産	252,020	237,297	前 受 収 益	7,418	8,170
全 信 組 連 出 資 金	112,100	112,100	未 払 諸 税	3,335	3,107
そ の 他 出 資 金	7,800	7,800	払 戻 未 済 持 分	180	290
前 払 費 用	2,933	150	賞 与 引 当 金	16,177	17,141
未 収 収 益	121,891	112,621	退 職 給 付 引 当 金	90,029	80,224
仮 払 金	78	113	役 員 退 職 慰 労 引 当 金	22,450	26,740
そ の 他 の 資 産	7,218	4,511	繰 延 税 金 負 債	224,659	260,328
有 形 固 定 資 産	5,853	7,895	債 務 保 証	5,632	3,458
建 物	374	209	負 債 の 部 合 計	79,434,813	82,971,734
そ の 他 の 有 形 固 定 資 産	5,479	7,686	（純資産の部）	令和2年9月末	令和3年9月末
無 形 固 定 資 産	9,682	20,440	出 資 金	46,670	47,270
ソ フ ト ウ ェ ア	8,982	19,740	普 通 出 資 金	46,670	47,270
そ の 他 の 無 形 固 定 資 産	700	700	利 益 剰 余 金	10,935,009	11,073,911
債 務 保 証 見 返	5,632	3,458	利 益 準 備 金	45,840	46,500
貸 倒 引 当 金	△ 63,029	△ 78,989	そ の 他 利 益 剰 余 金	10,889,169	11,027,411
（うち個別貸倒引当金）	（ — ）	（ — ）	特 別 積 立 金	10,740,000	10,890,000
			（うち目的積立金）	（ — ）	（ — ）
			当 期 未 処 分 剰 余 金	149,169	137,411
			組 合 員 勘 定 合 計	10,981,679	11,121,181
			そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	694,140	798,254
			評 価 ・ 換 算 差 額 等 合 計	694,140	798,254
			純 資 産 の 部 合 計	11,675,820	11,919,435
資 産 の 部 合 計	91,110,634	94,891,169	負 債 及 び 純 資 産 の 部 合 計	91,110,634	94,891,169

（注）1. 記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しています。以下の各表についても同様です。

## ◆損益計算書

(単位：千円)

科 目	金 額	
	令和2年9月末	令和3年9月末
経 常 収 益	332,999	339,665
資金運用収益	332,247	339,049
貸出金利息	72,580	82,764
預け金利息	16,930	17,520
有価証券利息配当金	238,252	234,280
その他の受入利息	4,484	4,484
役務取引等収益	536	328
受入為替手数料	205	163
その他の受入手数料	8	5
その他の役務取引収益	321	159
その他業務収益	216	287
その他の業務収益	216	287
経 常 費 用	223,948	222,542
資金調達費用	29,122	30,925
預金利息	28,341	30,120
給付補填備金繰入額	955	804
借入金利息	△174	—
役務取引等費用	6,807	7,763
支払為替手数料	234	188
その他の支払手数料	614	683
その他の役務取引費用	5,958	6,892
経 費	187,766	183,194
人件費	111,288	112,480
物件費	76,105	70,380
税金	372	333
その他経常費用	252	659
貸倒引当金繰入額	252	659
経 常 利 益	109,051	117,123
税引前当期純利益	109,051	117,123
法人税、住民税及び事業税	30,021	36,804
法人税等調整額	1,411	441
当期純利益	77,618	79,877
繰越金(当期首残高)	71,550	57,533
当期末処分剰余金	149,169	137,411

## ●預金積金残高

(単位：百万円)

区 分	令和2年9月末	令和3年9月末
流動性預金	28,106	30,442
定期性預金	50,874	52,032
合 計	78,980	82,475

## ●預金者別預金積金残高

(単位：百万円)

区 分	令和2年9月末	令和3年9月末
個人	51,903	53,848
法人	27,076	28,626
合 計	78,980	82,475

## ●貸出残高

(単位：百万円)

科 目	令和2年9月末	令和3年9月末
手形貸付	28	105
証書貸付	16,583	18,391
合 計	16,612	18,496

## ●金利区分別貸出残高

(単位：百万円)

区 分	令和2年9月末	令和3年9月末
固定金利貸出	1,285	2,480
変動金利貸出	15,326	16,015
合 計	16,612	18,496

## ●業種別貸出残高

(単位：百万円)

業 種	令和2年9月末	令和3年9月末
医療・福祉	16,612	18,496
合 計	16,612	18,496

## ●自己資本比率

(単位：%)

区 分	令和2年9月末	令和3年9月末
単体自己資本比率	25.10	22.68

## ●業務純益

(単位：百万円)

区 分	令和2年9月末	令和3年9月末
業務純益	111	119
コア業務純益	111	119
コア業務純益(除く投資信託解約損益)	111	119

## ◆金融再生法開示債権及び同債権に対する保全額

(単位：百万円、%)

区 分		債権額 (A)	担保・保証等 (B)	貸倒引当金 (C)	保全額 (D)=(B)+(C)	保全率 (D)/(A)	貸倒引当金 引当率 (C)/(A-B)
破産更生債権及び これらに準ずる債権	令和3年3月末	—	—	—	—	—	—
	令和3年9月末	—	—	—	—	—	—
危 険 債 権	令和3年3月末	—	—	—	—	—	—
	令和3年9月末	—	—	—	—	—	—
要 管 理 債 権	令和3年3月末	320	171	22	194	60.61	15.05
	令和3年9月末	320	171	22	194	60.72	15.11
金 融 再 生 法 開 示 債 権 計	令和3年3月末	320	171	22	194	60.61	15.05
	令和3年9月末	320	171	22	194	60.72	15.11
正 常 債 権	令和3年3月末	17,636					
	令和3年9月末	18,180					
合 計	令和3年3月末	17,957					
	令和3年9月末	18,500					

(注) 令和3年9月末の計数は、「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律施行規則」第7条に規定する各債権のカテゴリーにより分類し、以下の簡便な方法により算出しております。従って、令和3年3月末の計数とは算出方法が異なるため、計数は連続していません。  
(令和3年9月末の算出方法)

1. 債務者区分については原則として令和3年3月末時点における自己査定による債務者区分を基準としております。ただし、4月1日から9月末までに倒産、不渡り等の客観的な事実のあった債務者については、当組合の定める基準に基づく債務者区分見直し後の債務者区分によっております。
2. 「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」の金額は、債務者区分でいう破綻先及び実質破綻先に該当する債務者に対する債権の合計です。
3. 「危険債権」の金額は、債務者区分でいう破綻懸念先に該当する債務者に対する債権の合計です。
4. 「要管理債権」の金額は、債務者区分でいう要注意先に該当する債務者に対する債権のうち、貸出条件を緩和している債権及び3か月以上延滞している債権の合計です。
5. 「正常債権」の金額は、債務者の財務状態及び経営成績に特に問題がない債権であり、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」、「要管理債権」以外の債権の合計です。

## ◆有価証券の時価情報

### ◎時価が貸借対照表計上額を超える満期保有目的の債券

(単位：百万円)

科目	令和2年9月末			令和3年9月末		
	貸借対照表計上額	時価	差額	貸借対照表計上額	時価	差額
地方債	10,799	11,454	655	9,399	9,977	578
社債	900	1,008	108	900	1,001	101
合計	11,699	12,463	763	10,299	10,979	679

### ◎時価が貸借対照表計上額を超えない満期保有目的の債券

科目	令和2年9月末			令和3年9月末		
	貸借対照表計上額	時価	差額	貸借対照表計上額	時価	差額
地方債	—	—	—	100	99	△0
合計	—	—	—	100	99	△0

### ◎貸借対照表計上額が取得原価を超えるその他有価証券

(単位：百万円)

科目	令和2年9月末			令和3年9月末		
	取得原価	貸借対照表計上額	差額	取得原価	貸借対照表計上額	差額
国債	99	104	4	99	102	2
社債	26,594	27,671	1,076	28,795	29,931	1,136
外国証券	800	810	10	1,300	1,320	20
合計	27,494	28,586	1,091	30,194	31,354	1,159

### ◎貸借対照表計上額が取得原価を超えないその他有価証券

(単位：百万円)

科目	令和2年9月末			令和3年9月末		
	取得原価	貸借対照表計上額	差額	取得原価	貸借対照表計上額	差額
社債	5,000	4,903	△96	3,800	3,755	△44
外国証券	1,500	1,467	△32	900	889	△10
合計	6,500	6,371	△128	4,700	4,644	△55

## ◆経営内容

### ◎金利リスクに関するリスク管理の方針及び手続の概要

・リスクの管理方針及び手続の概要  
 金利リスクとは、市場金利の変動によって受ける資産・負債価値の変動や、将来の収益性の影響を指します。  
 当組合においては、金利リスクについて定期的な評価・計測を行い、協議検討するとともに、必要に応じて役員会へ報告を行うなど、資産・負債の最適化に向けたリスクコントロールに努めております。さらに、銀行勘定の金利リスク(以下、「IRRBB」とする。)について経済的価値の変動額である $\Delta$ EVE及び $\Delta$ NIIを計測しております。なお、当組合は四半期末日を基準日として、金利リスクを計測しております。

### ◎金利リスクの算定手法の概要

#### 金利リスクの算定手法の概要・計算方法

開示告示に基づく定量的開示の対象となる $\Delta$ EVE及び $\Delta$ NII及び当組合がこれに追加して自ら開示を行う金利リスクに関する事項

- (a) 流動性預金に割り当てられた金利改定の平均満期  
 流動性預金に割り当てられた金利改定の平均満期は1.25年です。
- (b) 流動性預金に割り当てられた最長の金利改定満期  
 流動性預金に割り当てられた最長の金利改定満期は5年です。
- (c) 流動性預金への満期の割り当て方法(コア預金モデル)及びその前提  
 流動性預金への満期の割り当て方法については、金融庁が定める保守的な前提を採用しております。  
     対 象 : 流動性預金全般  
     計算方法 : 現残高50%相当額  
     満 期 : 5年以内(平均2.5年)
- (d) 固定金利貸出の期限前返済や定期預金の早期解約に関する前提  
 固定金利貸出の期限前返済や定期預金の早期解約は考慮しておりません。
- (e) 複数通貨の集計方法及びその前提  
 当組合は円貨債のみを保有しており円通貨を対象としております。
- (f) スプレッドに関する前提  
 スプレッド及びその変動は考慮しておりません。
- (g) 内部モデルの使用等、 $\Delta$ EVEに重大な影響を及ぼすその他の前提  
 内部モデルは使用しておりません
- (h) 計測値の解釈や重要性に関する説明  
 $\Delta$ EVE及び $\Delta$ NIIの計測値は、当組合における自己資本比率や有価証券の含み損益等、他の経営指標とのバランスを総合的に勘案し、健全性に問題のない水準にあるものと判断しております。

(単位:百万円)

IRRBB1:金利リスク		イ		ロ		ハ		ニ	
項番		$\Delta$ EVE		$\Delta$ NII					
		令和3年9月末	令和2年9月末	令和3年9月末	令和2年9月末				
1	上方パラレルシフト	3,533	3,235	87	59				
2	下方パラレルシフト	0	0	2	0				
3	スティーブ化	3,203	2,934						
4	フラット化								
5	短期金利上昇								
6	短期金利低下								
7	最大値	3,533	3,235	87	59				
		ホ		ヘ					
		令和3年9月末		令和2年9月末					
8	自己資本の額	11,185		11,038					



# 愛知県医師信用組合

〒460-0008 名古屋市中区栄4丁目14番28号(愛知県医師会館4F)  
TEL : 052-242-2351(代) FAX : 052-242-2397 フリーダイヤル : 0120-144932  
ホームページアドレス <https://www.aichikenishishin.co.jp>